

## 職場紹介

南筑後支部 南筑後県土整備事務所 保坂拓哉\*

2017年4月に福岡県職員となり、南筑後県土整備事務所に配属されて約8ヶ月が過ぎました。県職員としての期間はまだ短いですが、これまでの8ヶ月と南筑後県土整備事務所について書きます。

南筑後県土整備事務所は、大牟田市に位置し、管内は大牟田市、みやま市、柳川市、大川市、大木町の4市1町で構成されています。所内には総務課、用地課、道路課、港湾河川課、都市施設整備課があり、柳川市には支所、三池港には管理出張所があります。また、事務所には野球部があり、毎週水曜日に練習を行っています。

入庁を控えた4ヶ月ほど前、私はあるイベントの懇親会で「野球しよったなら田川」「雰囲気が田川っぽい」というお言葉を県職員の先輩方から頂き、疑問に思いながら未踏の地である田川への準備を着々と進めていました。しかしそれは全くの見当違いで、現在私は福岡県の最南端に位置する大牟田市にいます。私自身大牟田へは何度も来たことがあったので、それなりの道路や河川くらいは分かるだろうと思っていましたが、そんな甘い考えは4月のうちに消えました。大牟田市内を共用車で通る度に、私が通っていたのは国道208号と県道南関大牟田北線だけだったのだと思い知らされます。

南筑後県土では、企画班に配属されました。同期が22人いる中で唯一の企画班ということもあり戸惑うことも多かったですが、多くの方々のお世話になり、少しずつですが前に進めているように思います。南筑後県土企画班は、地域整備企画監、地域整備主幹、班員3人の計5人体制でスタートしました。業務内容は、期成会や風水害協定、各種協会関係など幅が広いです。その中で私はイベント関係や発注計画の業務などを担当しています。分からないことだらけだったのですが、清掃やイベントごとがあると、人数調整等を気にかけてくださるY企画監や、いつも「さすが」と褒めてくださるH主幹、企画班に和やかな雰囲気を与えてくださるA主査、冗談を交えながら何でも質問に答えてくださった指導係のY主査（当時）、そして大学時代からお世話になっているK氏が前任ということもあり、慣れるのにあまり時間はかからなかったように思います。メールの送り方すら分からなかった4月頃が懐かしいですが、慣れたからといって油断しないよう気を付けます。

他の事務所の昼休みの話を聞くと、南筑後県土の昼休みは穏やかだと思います。ランニングやキャッチボール、音楽を聴いたり、各々休み時間を満喫しています。私も5月頃までは昼休みにキャッチボールをしていましたが、だんだん暑くなるにつれて貴重な睡眠時間へと変貌を遂げてしまいました。しかし、南筑後県土野球部監督のA氏から「また太ったな」と会うたびにお腹を叩かれるのが悔しいので、もう少し寒くなったらランニングに手を出そうかと考えています。

南筑後県土では、仕事はもちろん大蛇山祭りや野球の紅白戦など、楽しいことも多くあります。特に先日の紅白戦では、K氏がセカンドフライをエラーしたかと思うと、そのままボールがファーストに転がりアウトになるというトリックプレーで大いに盛り上がりました。こんな感じで大牟田での日々を過ごしていますが、毎月21日を楽しみにしていると、あっという間に8ヶ月が経ちました。つい最近のことのように思える辞令交付式から、これまでにない速さで時間が過ぎていきます。これからも1日1日を大切に、南筑後県土整備事務所でしっかりと土木の基礎を学び、多くのことを経験したいと思います。そして、早く福岡県の県土整備行政に貢献できるようになりたいと思います。

※南筑後県土整備事務所 企画班